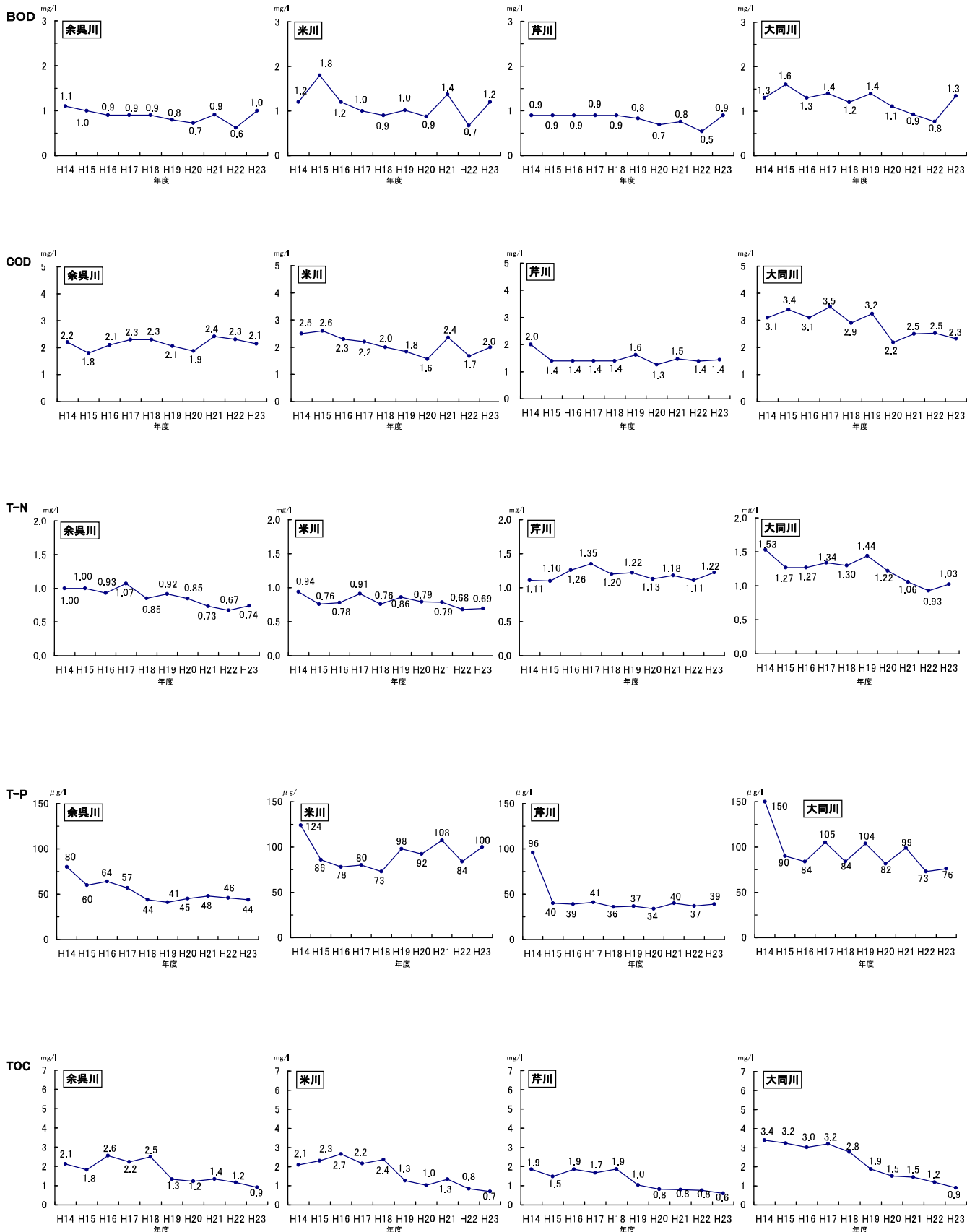


図7 環境基準未設定河川における年間平均値の推移



※グラフ中の数値は少数第2位(T-Nは少数第3位、T-Pは少数第1位)で四捨五入していますが、グラフは四捨五入前の数値で表示しています。

〔参考〕生活環境の保全に関する環境基準

1 湖沼

ア

| 項目 類型 | 利用目的の 適応性 | 基準値 | | | | | 該当水域 |
|---|---|-----------------|-------------------|--------------------------|---------------|----------------------|---|
| | | 水素イオン濃度 (pH) | 化学的酸素要求 量(COD) | 浮遊物質量 (SS) | 溶存酸素量 (DO) | 大腸菌群数 | |
| AA | 水道1級 水産1級 自然環境保全及び A以下の欄に掲げ るもの | 6.5以上8.5以下 | 1mg/L以下 | 1mg/L以下 | 7.5mg/L以上 | 50MPN/ 100mL以下 | 昭和46年12月28 日環境庁告示第 59号の第1の2の (2)により水域 類型ごとに指定 する水域 |
| A | 水道2、3級 水産2級 水浴及びB以下の 欄に掲げるもの | 6.5以上8.5以下 | 3mg/L以下 | 5mg/L以下 | 7.5mg/L以上 | 1,000MPN/ 100mL以下 | |
| B | 水産3級 工業用水1級 農業用水及びCの 欄に掲げるもの | 6.5以上8.5以下 | 5mg/L以下 | 15mg/L以下 | 5mg/L以上 | - | |
| C | 工業用水2級 環境保全 | 6.0以上8.5以下 | 8mg/L以下 | ごみ等の浮遊が 認められないこ と。 | 2mg/L以上 | - | |
| 備考 | | | | | | | |
| 1. 基準値は日間平均値とする。 | | | | | | | |
| 2. 農業用水利点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。 | | | | | | | |
| 3. 水産1級、水産2級及び水産3級については、当分の間、浮遊物質量の項目の基準値は適用しない。 | | | | | | | |

(注)

1. 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
2. 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 // 2,3級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作、又は前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
3. 水産1級：ヒメマス等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 // 2級：サケ科魚類及びアユ等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産3級の水産生物用
 // 3級：コイ、フナ等富栄養湖型の水域の水産生物用
4. 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 // 2級：薬品注入等による高度の浄水操作、又は、特殊な浄水操作を行うもの
5. 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

イ

| 項目 類型 | 利用目的の適応性 | 基準値 | | 該当水域 |
|--------------------------------|--|-----------|-------------|---|
| | | 全窒素 | 全りん | |
| I | 自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの | 0.1mg/L以下 | 0.005mg/L以下 | 昭和46年12月28日環境庁告示第59号の第1の2の(2)により水域類型ごとに指定する水域 |
| II | 水道1、2、3種（特殊なものを除く。） 水産1種 水浴及びIII以下の欄に掲げるもの | 0.2mg/L以下 | 0.01mg/L以下 | |
| III | 水道3級（特殊なもの）及びIV以下の欄に掲げるもの | 0.4mg/L以下 | 0.03mg/L以下 | |
| IV | 水産2種及びVの欄に掲げるもの | 0.6mg/L以下 | 0.05mg/L以下 | |
| V | 水産3種 工業用水 農業用水 環境保全 | 1mg/L以下 | 0.1mg/L以下 | |
| 備考 | | | | |
| 1. 基準値は年間平均値とする。 | | | | |
| 2. 農業用水については、全りんの項目の基準値は適用しない。 | | | | |

(注)

1. 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
2. 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 " 2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 " 3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 （「特殊なもの」とは、臭気物質の除去が可能な特殊な浄水操作を行うものをいう。）
3. 水産1種：サケ科魚類及びアユ等の水産生物用並びに水産2種及び水産3種の水産生物用
 " 2種：ワカサギ等の水産生物用及び水産3種の水産生物用
 " 3種：コイ、フナ等の水産生物用
4. 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

ウ

| 項目 類型 | 水生生物の生息状況の適応性 | 基準値 | 該当水域 |
|-------------------|---|------------|---|
| | | 全亜鉛 | |
| 生物A | イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域 | 0.03mg/L以下 | 昭和46年12月28日環境庁告示第59号の第1の2の(2)により水域類型ごとに指定する水域 |
| 生物特A | 生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域 | 0.03mg/L以下 | |
| 生物B | コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域 | 0.03mg/L以下 | |
| 生物特B | 生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域 | 0.03mg/L以下 | |
| 備考 | | | |
| 1. 基準値は、年間平均値とする。 | | | |

2 河川

ア

| 項目 類型 | 利用目的の 適応性 | 基準値 | | | | | 該当水域 |
|---|-------------------------------------|-----------------|----------------------|--------------------------|---------------|----------------------|---|
| | | 水素イオン濃度 (pH) | 生物化学的酸素 要求量 (BOD) | 浮遊物質 量 (SS) | 溶存酸素量 (DO) | 大腸菌群数 | |
| AA | 水道1級 自然環境保全及び A以下の欄に掲げ るもの | 6.5以上8.5以下 | 1mg/L以下 | 25mg/L以下 | 7.5mg/L以上 | 50MPN/ 100mL以下 | 昭和46年12月28 日環境庁告示第 59号の第1の2の (2)により水域 類型ごとに指定 する水域 |
| A | 水道2級 水産1級 水浴及びB以下の 欄に掲げるもの | 6.5以上8.5以下 | 2mg/L以下 | 25mg/L以下 | 7.5mg/L以上 | 1,000MPN/ 100mL以下 | |
| B | 水道3級 水産2級 及びC以下の欄に 掲げるもの | 6.5以上8.5以下 | 3mg/L以下 | 25mg/L以下 | 5mg/L以上 | 5,000MPN/ 100mL以下 | |
| C | 水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄に 掲げるもの | 6.5以上8.5以下 | 5mg/L以下 | 50mg/L以下 | 5mg/L以上 | - | |
| D | 工業用水2級 農業用水及びEの 欄に掲げるもの | 6.0以上8.5以下 | 8mg/L以下 | 100mg/L以下 | 2mg/L以上 | - | |
| E | 工業用水3級 環境保全 | 6.0以上8.5以下 | 10mg/L以下 | ごみ等の浮遊が 認められないこ と。 | 2mg/L以上 | - | |
| 備考 | | | | | | | |
| 1. 基準値は日間平均値とする。 | | | | | | | |
| 2. 農業用水利点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。 | | | | | | | |

(注)

1. 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
2. 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 " 2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 " 3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
3. 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 " 2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物及び水産3級の水産生物用
 " 3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
4. 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 " 2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 " 3級：特殊の浄水操作を行うもの
5. 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

イ

| 項目 類型 | 水生生物の生息状況の適応性 | 基準値 | 該当水域 |
|-------------------------|---|------------|---|
| | | 全亜鉛 | |
| 生物A | イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域 | 0.03mg/L以下 | 昭和46年12月28日環境庁告示第59号の第1の2の(2)により水域類型ごとに指定する水域 |
| 生物特A | 生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域 | 0.03mg/L以下 | |
| 生物B | コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域 | 0.03mg/L以下 | |
| 生物特B | 生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域 | 0.03mg/L以下 | |
| 備考 1. 基準値は、年間平均値とする。 | | | |